



写真左：JICA「みんなのメダルプロジェクト」メンバー 右：回収にご協力いただいたJANIC若林事務局長



東京2020大会をSDGsで盛り上げよう！ 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に JICAもNGOの皆さんとご一緒に参加しました！

2018年9月～2018年12月

JICAは「東京オリンピック・パラリンピック大会をSDGs（持続可能な開発目標）を推進する大会に」との日本政府表明も踏まえ、東京2020大会やSDGs推進に向けた気運醸成への貢献のため、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」（以下、「メダルプロジェクト」）に賛同・参加しました。このプロジェクトは、回収した使用済小型家電から東京2020大会で使用するメダル（金・銀・銅、約5000個）を製作するもの（17年4月開始）で、中央省庁、自治体、(株)NTTドコモ、日本郵便(株)なども協力する公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会認定のプログラムです。JICA本部ビルなどに回収箱を設置、来訪者やJICAスタッフに使用済携帯電話・スマートフォン等の提供を呼びかけました。

～活動や目指す成果～

（活動）本部ビル・市ヶ谷ビル・横浜センターの1階受付に携帯電話・スマートフォン専用の回収箱を設置し、来訪者やJICAスタッフに使用済携帯電話・スマートフォンを提供してもらうよう、呼びかけを実施しました。また、回収結果を広くHP、SNSなどで発信しました。

（成果）合計15キロ分の使用済携帯電話・スマートフォンを回収（100台以上に相当）。JICA役職員のみならず、業務の打ち合わせ等で来訪するコンサルタント企業やNGO、セミナー等への参加者の方々など、幅広い層から協力をいただきました。特に、2018年11月に開催されたNGO-JICA協議会の機会に使用済携帯電話を提供いただいたNGOの方からは、「思い出のある携帯だが役に立てれば嬉しい。働く場は違っても、SDGs達成のため共に取り組みましょう」というメッセージもいただき、NGOの皆さんとのパートナーシップ強化にもつながりました。